

# 総合計画及び地域創生戦略委員会での意見・提案等に対する回答・計画への反映等 【第4回委員会（7月20日）】

## 基本施策2 農業の振興（素案P45.46）

No.	素案に対する意見・提案等	意見・提案等に対する回答・計画への反映等	備考
1	他市町も含め、人・農地プランの成功事例等を調べていただきたい。	農林水産省が公表している全国の人・農地プラン成果事例では、それぞれの地域の状況に応じた区域の範囲や手法で取組が進められ、成果が上がっていることが確認できます。今後は、当市に類似した他市町村の事例等を参考としながら、当市（地域）の実情にあった範囲設定や手法により柔軟に取組を進めていきたいと考えております。また、人・農地プランの推進には担い手の育成が必須であるため、宍粟北みどり農林公社の経営基盤強化促進により、同公社が中心的な役割を果たすことができるよう市としても支援していきたいと考えます。	

## 基本施策4 観光の振興（素案P49.50）

No.	素案に対する意見・提案等	意見・提案等に対する回答・計画への反映等	備考
1	宍粟市全体の産業構成の中で、これから5年、10年、観光業をどのくらいの規模で考えているのか。観光に関わる就業者の数や観光から得られる収入源が、宍粟市全体の産業構成の中でどれくらいの割合を占めれば観光に力を入れているという状況になると考えているのか。	観光業は様々な業態が複合しているため、就業人口や産業全体に占める割合を示す適格な指標がありません。本市における観光入込客数はH30年度で日帰97.8万人、宿泊7.6万人の合計105.4万人となっています。仮に兵庫県算定による本市の年間観光消費額約85億円から計算した、市内総生産に対する観光消費額の割合は7.57%程度となっています。市内総生産等は様々な要因により変動しますので、将来的な比較はできませんが、まちづくり指標としている観光入込客数のH30年度数値（105.4万人）とR7年度目標値（116.5万人）の比率により計算すると観光消費額の全体割合は8.36%程度に増加すると見込まれますので、今後も観光入込客数増加に向けて、各種施策に取り組んでいきたいと考えています。	

## 全体

No.	素案に対する意見・提案等	意見・提案等に対する回答・計画への反映等	備考
1	生涯現役社会をまちづくりの目標とすることが重要であるとする。そのために働き手の意識、企業の意識をはじめ、社会全体の仕組みを変えていけるような複合的な施策を考えてもらいたい。	ご指摘を踏まえ、以下の事項を基本構想に反映できるよう検討していきます。 ①子どもから高齢者まで、すべての市民があらゆる場面で活躍することができる「生涯活躍社会」の実現をめざします。 ②市民一人ひとりが価値観やライフステージに応じて希望する暮らし方、働き方、学び方を生涯にわたって選択できるよう、健康づくり・介護予防の促進による体力向上や健康寿命の延伸を図ります。 ③経済的な自立だけでなく、ワークライフバランスの実現や社会とのつながりを保つことで生きがいを感じるなど、あらゆるニーズに応じた多様な働き方や雇用機会の確保を図ります。 ④生涯学習の充実、学んだ知恵や知識を地域社会に還元することなど、生涯を通じた学びの機会の確保を図ります。	